

あ と が き

本年度の出来事として、3大学（本学、府立大学、京都工芸繊維大学）連携による教養教育の連携がスタートした。本学の提供科目は10科目（看護学科分も含む）。本学からは2名（医学科は1名）が府立大学で行われた科目に登録した。府立大学からは2名が本学開講科目（看護学科も含む）に登録した。うち1名は花園で行われる科目に登録した。

平成18年12月に決定された京都府大学改革基本計画に沿って、いよいよ、花園学舎が下鴨地区に移転することが、教授会の決定を経て、京都府大学改革推進会議で決定された（平成19年6月）。大学では教養教育等施設検討小委員会で施設整備などについて検討することになった。実際の移転までにはまだしばらく時間がかかりそうである。

地域枠推薦入試を実施することになった。文部科学省が9月になって、緊急医師不足対策の一環として、10年間限定で各都道府県5名までの医科大学定員枠の前倒しによる定員増を実施した。自治医大方式を全医科大学でやれば、地域の医師不足は緩和される、という見込みによるもの。これは、医師不足が色々問題になっていることを受けて、与党が選挙直前の5月に短・中長期対策、できることは何でもやるとして出してきたもの。しかし、医師不足は急に生じたものではないのに、短兵急に対策を決めて実行していいのか（当時の安倍内閣のスローガン、「美しい国日本」にかけて、国民が安心して暮らせるところでなくてはならない、として決定されたとか。与党の選挙対策という批判がある。）これを受けて、京都府は本学に3名の地域枠推薦入試を実施するよう要請してきた（京都府は奨学金を提供する）。教授会などで検討の結果、此を受け入れることになり、有蘭学生部長が中心となって大急ぎで推薦入学学生募集要項や入学試験実施要領を作成した。

Humanaの紙をいいもので作ってもらうことにしました。執筆者からあまりに紙質が悪いと執筆意欲がそがれる、という苦情に応えたものです。研究成果発表の場になるといいと思います。

編集委員

人文・社会科学教室 棚次正和
(Masakazu TANATSUGU)
第一外国語教室 大武博
(Hiroshi OHTAKE)
第二外国語教室 須加葉子
(Yoko SUGA)
数学教室 長崎生光
(Ikumitsu NAGASAKI)

物理学教室 花井一光
(Kazumitsu HANAI)
化学教室 赤路健一
(Kenichi AKAJI)
生物学教室 佐野護
(Mamoru SANO)

STUDIA HUMANA et NATURALIA 41 (非売品)

平成19年12月10日 印刷

平成19年12月20日 発行

編集兼
発行者 京都府立医科大学医学部医学科（教養教育）
代表者 花井一光
〒603-8334 京都市北区大將軍西鷹司町13
電話 (075) 465-7650

印刷所 ワールドプリント
〒601-1123 京都市左京区静市市原町756-1
電話 (075) 741-1931
